

地質技術者セミナーに参加して

柴田工事調査(株) 伊藤 慶彦



本稿は平成25年11月1、2日の2日間にかけて開催された「地質技術者セミナー」の参加報告である。

本セミナーは、「技術の伝承」と「技術者間の親睦」を目的として毎年開催され、本年度で第36回目であった。以前は「若手技術者セミナー」という名称で行われていたものであったが今年度から「若手」がなくなり現在の名称となった。その為、参加する前の私のイメージは、経験豊富なベテラン技術者の方が高度な議論をかわす会であり、地質調査業界や現場経験の浅い私には場違いなのではと不安であった。集合場所に着き、最初にしたのは私と同年代もしくは私より若い方が多い事だった。地質調査業界は若手技術者が少ないイメージがあったので心強く感じた。

セミナーは1日目が先輩技術者からの業務経験及び話題提供と意見交流会、2日目が先輩技術者を交えた参加者間のグループディスカッションが行われた。以下に感想を述べる。

《経験発表及び話題提供》

先輩方が普段行われている業務から、「土壤汚染に関する調査技術」、「真空圧密工法」、「河川堤防の安全性確保と地質調査」、「東日本大震災における仙台市丘陵地での住宅災害と耐震性調査について」の4つの業務を紹介していただいた。

正直なところ、勉強不足な点が多く理解できる場所は少なかったが、普段、会社で行っている業務に重なるお話もあり、これから勉強を行う上でとても参考になった。国内外の最前線で活躍されて

いる先輩方の生の声と、技術者としてのオーラを感じることができ、「自分もいつかそのステージに立って仕事がしたい」と思った。純粋に格好良かった。

《グループディスカッション》

2日目に行われたグループディスカッションでは、地質・土質の2つのコースから1つを選択し、自分がこれまでどんな業務を行ってきたのか、実際の業務でわからなかったこと等、先輩方を交え参加者間で、専門分野の枠を超えて話し合った。私の選択した土質コースには、土質試験を専門に行っている方や森林土木、現場管理、ボーリング作業の助手をしている方など普段自分が行っていない業務を専門としている方も多かった。私は普段行っている業務で、調査目的に沿った土質試験について不安があったので、土質試験を専門とされている方からのお話はとても参考になった。その他、ボーリング現場での安全管理やコミュニケーションの取り方等、実体験からの幅広い内容が新鮮であった。グループディスカッションで一番感じたことは、自分と同世代の若い技術者が責任ある立場で誇りを持って業務を行っていることであった。同世代で活躍されている方の存在は、これから業務を行っていくうえでとても心強かった。

《意見交流会》

1日目の夕方から深夜にかけて行われた意見交流会では先輩方や若手技術者とコミュニケーションをはかることができた。技術の話だけでなく、趣味や結婚の

話など、色々な話ができ、技術者間の親睦を深めることができたように思う。

《最後に》

地質調査業務は、不可視なものを限られた情報から推測し、情報を提供するという特殊な業務である。特に、日本の地質構造は諸外国と比較して複雑なものとなっており、基礎地盤調査だけでなく、

防災や維持管理などで地質技術者の存在はますます重要なものとなっている。私も地質技術者の一人として社会に貢献できるように先輩方の経験や知識を引き継ぎ、今回セミナーに参加していた技術者の方々に追いつけるよう努力していきたいと思った。発見と刺激の多いセミナーだったので、機会があればぜひまた参加したい。

(株)アサノ大成基礎エンジニアリング東北支社 佐藤 誠芳



平成 25 年度（第 36 回）の「地質技術者セミナー」が、11 月 1 日～2 日に開催されました。今回は若手技術者セミナーから名称が変わり、初めての開催となりました。

1 日目は経験発表及び話題提供として、先輩の技術者から経験談等を聞かせていただきました。内容はレベルが高く、理解できなかつた点もありましたが、これから多くの経験を積み自己研鑽することで、いずれは自分もこれらの業務をこなすことができる人材になりたいと強く感じました。

そして夜には、意見交換会が開催されました。昼間には緊張から積極的に話すことが出来ませんでした。お酒を程よくいただくことで、ざっくばらんに皆さんとお話することが出来ました。

2 日目はグループディスカッションを行いました。私が参加したグループでも複数のテーマについて討論を行いましたので、そのうち 2 つを紹介します。

【1】ベテランからの技術等の伝承

ベテラン技術者の貴重な技術や知識に

ついて、どのようにして受け継ぎ、残していくかについて議論を行いました。このテーマに対して、「ノウハウの伝承は個人では難しいため、組織（会社）として対応すべき」や、「良い部分だけでなく失敗例をまとめたものを作ってはどうか」という意見が出されました。また、技術は教えて貰うものではなく、「目で見て盗め」という意見も出ました。

討論を通じて感じたことは、若手がベテランから知識を教えてもらうという受身ではなく、学ぼうという積極的な姿勢を持つことが大切だと感じました。

【2】安全管理

安全管理について、各社の取り組みや意識についての多くの意見が出されました。討論を通じて感じたことは、業務の品質よりも「安全」を何より重要であること。そして、KY 活動等で常に安全意識を持つことが大切だと感じました。

今回のセミナーでは、先輩方から貴重な経験談を聞いたこと、そして会社を越えた交流を持てたことが何よりの経験となりました。まだまだ努力をすべきことは多くありますが、今回の経験を生かして今後の業務を行いたいと思います。